

実施期間
2019-2021

実用化開発場所
南相馬市

連携自治体
—

水産物陸上養殖における飼育管理自動化の
実用化開発

The Green 株式会社

「ワンストップ型で提供可能なバナメイエビ 陸上養殖」を開発

空地があれば誰でも参入可能な陸上養殖の環境構築と国内種苗技術を実現し、福島発の安全・安心な生のエビを流通させます。①陸上養殖の飼育管理システムの開発 ②海水の入替不要な完全陸上養殖場の開発 ③国内バナメイエビ種苗技術の確立



代表取締役
北出谷 慎一郎

開発背景

福島県の水産業は、震災前と比べ漁獲量が大きく後退している一方、淡水でのコイなどの養殖は震災前と比べて生産量が増加しています。風評被害や汚染水を鑑みると福島県水産業を伸ばすには、陸上での養殖が有効な手段と想定されます。

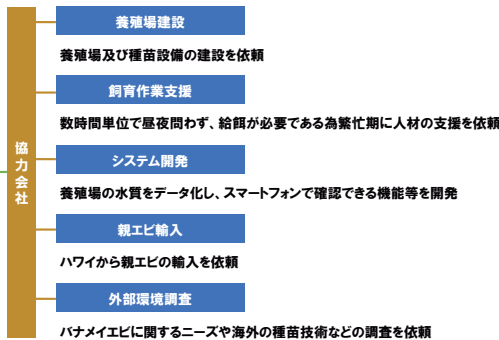
実用化開発の目標

実用化時期	令和6年度（2024年度）
販売製品・サービス名	「バナメイエビ養殖ワンストップサービス」（仮）
成果物（最終年度）	3年間の網羅的な実証実験で下記の実現を目指します。 ①養殖場施設でのバナメイエビ養殖 ②バナメイエビの種苗 ③クラウド上で水質状態が確認可能な技術
創出される経済効果	陸上養殖場としての耕作放棄地の利用や、それによる雇用の拡大などに加え、福島県の新しい特産物の創出が見込めます。

開発のポイント

要素技術	①養殖場施設でバナメイエビの養殖技術の確立 ②バナメイエビの種苗技術の確立 ③クラウド上で水質状態が確認可能な技術の確立
開発のポイント	窒素化合物を排出せず水の交換が不要な養殖場や、水質センサーでの検査機能等開発内容は多岐に渡りますが、国内産稚エビ育成用の種苗技術に注力しています。

The Green 株式会社



浜通り復興に向けたメッセージ

南相馬市を拠点に本事業へ取組む中で、大勢の方にお世話になり、開発を順調に進められました。今後も地域に貢献できるよう開発を進めて参ります。

浜通り地域への経済波及効果

雇用数	実績	3名（うち、地元雇用者1名）
	今後の予定	5名（うち、地元雇用者3名）
拠点立地件数（立地場所）		2件（南相馬市）
地元企業との連携	R&D・開発	水質センサー及びシステム開発について地元企業1社と開発
	資材調達	—
	製造	養殖場設備の電気工事など地元企業1社に発注
	販路開拓	—

これまでに得られた成果

成果品・試作品	①陸上養殖の飼育管理システムの開発 ②海水の入れ替えが不要な100%完全陸上養殖場の開発 ③バナメイエビ種苗技術の開発
知的財産権	—
開発技術	・養殖場施設でバナメイエビの養殖技術 ・クラウド上で水質状態が確認可能な技術
自治体との連携実績	—
代表的な企業との連携実績	—
メディア露出や受賞歴	—

連絡先

The Green 株式会社 |
東京都港区芝浦三丁目5-25-203
☎ 03-4405-3652（担当：北出谷慎一郎）
✉ info@thegreen.jp



投資規模	1~5億円
開発人数	10名未満
販売時期	令和6年度（2024年度）
販売形態	バナメイエビ養殖ワンストップサービス（仮）及びバナメイエビ稚エビの販売
販売見込先	3社
協業希望先	—